

## 丸亀で会いましょう

### 笑顔と触れ合いを大切に ～地域の在宅福祉サービスにかかわって～

濱野さんは、ケアマネジャー（介護支援専門員）として、丸亀市内の居宅介護支援事業所に勤務している。要介護・要支援認定を受けたお年寄りや家族との相談に応じ、居宅サービスを組み入れたケアプランを作成している。各サービス担当者との会合を開き、連絡調整にあたる。

30人程度を担当しているが、月1回以上は訪問してプランの検証をしている。お年寄りの生活支援と家庭での介護負担軽減のための重要な仕事だ。訪問サービス（ホームヘルプ・入浴・リハビリテーションなど）、通所サービス（デイサービスやデイケアなど）、ショートステイ他、家庭の事情を考慮しながら、みんなに喜んで利用してもらうために、一人ひとりに対するきめ細かな心遣いが欠かせない。



濱野 章さん

ケアマネジャーの研修会では、看護師の方など圧倒的に女性が多いそうだ。お年寄りの中には、濱野さんを息子や孫のように親しみをもって接して下さる方もいるそうだ。「いくつになっても、住み慣れた地域で生き生きと安心して暮らせるようにお手伝いがしたい。」深い使命感が、とても爽やかだった。

（平成19年6月末現在）丸亀市地域包括支援センターが、介護予防支援業務（要支援認定を受けたお年寄りの相談、ケアプラン作成・調整等）を委託している事業所（40ヶ所）のケアマネジャーの内訳：男性12人、女性90人

## Information

### 講演会

学校図書館 この宝を子どもたちに！  
～学校図書館のすばらしい可能性を拓く～

講師・五十嵐桐子氏  
とき・平成19年9月2日（日）13:30～15:30  
ところ・丸亀市民会館 第2・3会議室  
主催・学校図書館を考える会・丸亀

### 図書の紹介

#### 「世界に学ぼう！子育て支援」

汐見穂幸編著＜フレーベル館＞  
デンマーク・スウェーデン・フランス・ニュージーランド・カナダ・アメリカの6カ国を取り上げ、育児理念・法制度・保育サービスなどの子育て環境を紹介。

#### 「世界を信じるためのメソッド」

森 達也＜理論社＞  
大量につくられるメディアの危険性についての警鐘。現代のメディア・リテラシーを説くヤング・アダルト新書。

## ゆめの部屋だより



5/2・子ども達と一緒に、かぶとや鯉のぼりをおり紙で折ったり、けん玉やお手玉で遊びました。

5/3・牛乳パックのキュービックパズル作成。絵本も読みました。



### 編集後記

中学の入学式。「何で～。何で分けるん？」男女が分かれている名簿に気づき驚いた娘。ところが、「うそ～。男女混ざったん？何で～。」他の市から通っているクラスメートに、逆に驚かれたそうです。

「男女混合名簿なんて形だけ整えても…」という声も聞いたことがありますが、この「何で～」の差は大きいと思います。丸亀の子どもたちは、「クラスの出席番号は、男女の区別なく全員を名前の50音順に並べたものだ」と、普段の生活の中で、なじみ、自然に感じています。こうした活きた取り組みこそ大事だと思いました。(T)



第17号

城戸幼稚園



平成18・19年度  
男女共同参画モデル校



飯野小学校

# 地域こそって楽しく子育て♪

## 講演会 妻が僕を変えた日 ～共につくりあげる社会を目指して～



H19  
1/24

講師の廣岡守穂さん（中央大学法学部教授）の体験を通してのお話から、夫婦や家族のあり方を考えさせられました。廣岡さんは、親の反対を押し切った学生結婚、実家の倒産など、自立への試練を乗り越える中で、いろんな人に支えられ、人間は一人では生きられないことを実感したそうです。

5人の子の父親となり、子育てに協力していたつもりだったが、自分の一言が妻を傷つけることになった。それで初めて、妻の「自分育て」に対して、パートナーとしてどうあるべきかという視点がなかったことを反省したそうです。

夫は、妻が自立した女性として生きたいという気持ちを認め、お互いに認め合い支え合うことが大切です。

### 【参加者アンケートによる感想】

- ・自分育ての人生、ほのほのとしてよかった。
- ・自分が変わらなければ、相手を変えることはできないことが、よくわかった。
- ・お互いを尊重し合える夫婦のありかたが素敵。
- ・奥さんが社会と関わり自分らしく生きるのを応援している姿勢に共感。
- ・孫育てするおじいちゃんにもできる男女共同参画を実践したい。
- ・人と人との絆、同じ目線で人間関係を築くことの大切さなど、心にしみこんできた。